

# 謹賀新年



刈谷市議会議長  
伊藤 幸弘

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。  
健やかで、希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、市議会に対する温かいご支援、ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成も最後の年を迎えますが、この30年さまざまな出来事がありました。近年は地震や豪雨、台風などの自然災害が目立つようになり、特に昨年は経験したことのない記録的猛暑で、救急搬送される方が相次ぎました。

そんな中、本市では児童生徒の安全を確保するため、全国に先駆けて全小中学校の普通教室にエアコンを設置しました。今後も市民の皆さまの安心安全を守るため、未来を見据えた取組を心掛け、二元代表制の一翼を担う議事機関としての役割を担ってまいります。

また、市議会では、老朽化した議場等放送設備の更新を行ってまいります。本年6月定例会からの運用を目指し、現在の議場モニターを大型化するとともに、新たに傍聴席にモニターを設置する予定です。ぜひ傍聴にお越しください。その他、議会ICT化に向けての研究会を立ち上げるなど、今後も、市民の皆さまに開かれた議会、分かりやすい議会を目指し、議会改革に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健康、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



刈谷市長  
竹中 良則

明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、メジャーリーグの大谷翔平選手の新人王をはじめ、水泳の池江璃花子選手のアジア大会MVP、藤井聡太棋士の史上最年少7段昇段など、若い力が躍動し私たちを熱くさせてくれました。

一方で、記録的な猛暑、酷暑の連続で、大変暑い夏でもありました。

本市では、昨年3月に刈谷特別支援学校が開校し、学ぶ環境として新たな一步を踏み出しましたが、猛暑対策として昨年度より進めてまいりました小中学校への空調設備設置や、防犯カメラにつきましても目標の1,000台設置を完了するなど、安心安全なまちづくりの実現に向けて更に前進することができました。

本年は3月に歴史博物館がオープンいたします。刈谷市の歴史や文化財を一堂に集めた施設となりますので、ご期待ください。また、スマートインターチェンジの設置や刈谷駅周辺整備の早期完成を目指すと共に、待機児童対策や高齢者の地域包括ケア体制の構築など、皆さまに、住みたい、住み続けたいと思っていただけるよう、「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指し、各種施策に取り組んでまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



ミササガ市長  
ボニー・クロンビー

ミササガ市を代表して、謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
私が市長に就任して以来、日本とミササガ市の結びつきを強めることを最優先としてきました。ミササガ市には、100社近い日本の企業が存在しており、日本は文化的、経済的にもミササガ市にとって重要であります。

このような現状で、ミササガ市は、刈谷市と強い絆で結ばれていることを誇りに思っており、ミササガ市友好協会を通じて、これまでの長年にわたる姉妹都市の関係を、より一層強めていきたいと考えております。

私が刈谷市を訪問した際に、伝統的な抹茶作法の場に参加させてもらったことや皆さまが温かく出迎えてくださったことが格別な喜びとして思い出に残っております。

今後も、刈谷市との絆を深めるとともに、両市の成長を心より期待しております。刈谷市の皆さまにとって、喜びに満ちた幸せで充実した年になることを願っております。